

平成31年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立津島中学校

1 自己評価書

教育目標 津島の大地に深く根を張り、夢や目標に向かって努力する生徒を育成する						
基本方針 本校の歴史と伝統を継承し、地域に根を張りながら将来を見据えた、創意と活力のある学校づくりを進める。すべての教育活動を通じて、生徒の主体性を重んじた教育活動を推進し、やればできるという達成感と、支え合い認め合う集団づくりを推進する。						
本年度重点目標 1 生徒・家庭・地域・教職員が誇れる学校づくり 2 確かな学力の定着と向上、自己充実感及び学びに向かう力の涵養 3 教職員一人一人の資質・能力の向上 4 生徒理解及び健全育成のための指導の徹底						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	市学力調査、全国学力調査及び県学力調査等の活用 自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成	B	B	
			・具体的な対策の実施	B		
	②	授業改善 ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 話し合い活動を取り入れ、児童生徒が主体的に考える授業を行った。 ICTを活用したり、学習活動と関連した掲示を行ったりするなど、学習意欲を高める工夫を行った。	・教師アンケート	B	B	
			・児童生徒アンケート	B		
			・教師アンケート	B		
	③	家庭学習の充実 家庭学習のねらいと効果について、児童生徒と保護者に明確に示し、繰り返し啓発を行った。 家庭学習の在り方を見直し、個の課題に配慮した宿題の改善に努めた。	・教師アンケート	C	B	
			・保護者アンケート	B		
			・児童生徒アンケート	B		
	④	ふるさと学習 「総合的な学習の時間」等で、フィールドワークなどの調べ学習を行ったり、地域人材を活用したりするなど、地域との連携を図り、愛郷心の醸成を図った。	・教師アンケート	A	B	
			・保護者アンケート	B		
			・児童生徒アンケート	B		
	<p>(成果と課題)</p> <p>○「学習態度調査」「家庭学習時間調査」等を行い、生徒の学習に対する意欲喚起に努めた。 ○2年生が5日間の地域での職場体験学習を行ったり、1年生が郷土学習で、3年生が福祉学習で地域の人材を活用したりして愛郷心の醸成を図っている。 ○学校独自の検定試験を行い高得点獲得者を表彰することによって、学習に対する意欲喚起を図り、自信を付けさせた。 ○デジタル教科書を使用したり、タブレットを使用させたりして、学習意欲を喚起させた。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○家庭学習の大切さについて、学級活動等で生徒に説明したり、学級通信や学校通信で保護者に啓発したりする。 ○ねらいをしっかり示し、まとめや振り返りの時間を確保するよう、授業研究を行いながら共通理解を図る。 ○地域の行事に参加したり本校の行事に参加していただいたりしながら、地域との連携を深める。</p>					
	評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
	生徒指導の充実	①	規範意識の向上 規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	B	B
				・保護者アンケート	B	
				・児童生徒アンケート	B	
②		児童生徒の健全育成 日常的に、児童生徒との豊かな人間関係づくりや仲間づくりに努め、心の通う対人交流が深まってきた。 不登校の防止に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 学校いじめ防止基本方針に基づいて、いじめの防止等のために、取組の改善を図った。	・あゆみ(日記)点検等	A	B	
			・教師アンケート	B		
			・児童生徒アンケート	B		
			・教師アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	B		
			・保護者アンケート	B		
③		基本的生活習慣の徹底 「おはよう」、「さようなら」、「ありがとう」、「ごめんなさい」等の挨拶や返事がさわやかにできる。	・教師アンケート	A	A	
			・児童生徒アンケート	B		
			・保護者アンケート	A		
④		自己肯定感等 自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・児童生徒アンケート	C	C	
			・児童生徒の姿	C		
<p>(成果と課題)</p> <p>○「挨拶評価の調査」をしたり、生徒会が挨拶運動をしたりすることで、気持ちの良い挨拶をするよう心掛ける生徒が増えている。 ○「いじめ根絶集会」を開き、学校の中にいじめがなくなるよう全校で考えている。 ●自己有用感や自己肯定感が低い生徒が少し多い傾向にある。 ●不登校の生徒は昨年度より減少したが、まだゼロに至っていない。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○自己有用感や自己肯定感が持てるよう、生徒が活躍し、それを評価する場を設定していく。 ○不登校生徒に対応できるようケース会議を開き取り組んでいく。</p>						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
業務改善	①	ワーク・ライフ・バランス 「出勤・退庁調査」を記入することで、自分自身の勤務時間を把握し、仕事の効率を上げることを意識するとともに、長時間勤務という働き方の見直しに努めている。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B B	B
	②	働きやすい環境づくり お互いが働きやすい環境づくりに努め、机上の整理、書類やファイルの管理等を適切に行った。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされている。	・教師アンケート	B	
			・教師アンケート	B	A
③	他の教職員のサポート体制の充実 管理職や学年主任、教科主任、生徒指導主事等に対し、必要に応じて報告、連絡、相談を確実にを行い、問題を一人で抱え込まず組織で対応している。	・教師アンケート	A	A	
<p>(成果と課題)</p> <p>○報告・連絡はしっかり行われており、問題に対してもチームで取り組むことができている。 ○出勤時に自分の退勤予定時刻を記入することで、自分の仕事を効率的に行うよう努力している。 ○部活動の休養日をきちんととるようにしている。 ○職員会議をペーパーレスにすることで時間の短縮及び仕事の効率化を図っている。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○仕事に優先順位を付け、効率化が図れるような対策を考えていく。 ○職員室内が過ごしやすい環境になるよう呼び掛けていく。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
実効性を 目指した 防災教育	①	避難訓練の改善 ありきたりの避難訓練から脱却し、学校や児童生徒の実情に合った条件下で、「実効性」を高める避難訓練を行っている。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・避難訓練実施案	B B A	B
	②	防災マニュアルの検証と修正 地域の実情、児童生徒の実態に合わせて、防災マニュアルを整備・改良し、関係者(学校・家庭・地域)で共有化を図っている。	・教師アンケート	B	
			・保護者アンケート ・防災マニュアルの改良	A B	B
③	地域・保護者との連携 防災について、地域・保護者への啓発、連携の工夫を具体的に行っている。	・教師アンケート ・保護者アンケート (・地域アンケート)	C B	B	
<p>(成果と課題)</p> <p>○生徒に予告せずに避難訓練を行ったことで、自分がどう行動すればいいのか考えさせることができた。 ○保護者に避難場所を確認してもらった。 ●地域とともに避難訓練が行えていない。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○地域の自治会の人たちと一緒に避難訓練が行えるよう、計画を立てていく。 ○職員にも知らせない抜き打ちの避難訓練を計画する。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満